

2017年

秋の「心の健康講座」

「森田資料保存会」恒例の講座の季節を迎えました。今回は特に、北海道浦河町の「べてるの家」でソーシャルワーカーとして障害者とともに「当事者研究」を発信され注目を集めている向谷地先生を招くことになりました。これを機会に、お誘い合わせのうえ、多数参加していただきたくご案内申し上げます。（※申込みは不要です）

— [全3回] —

【第一回目】 10月28日(土) 18:00～20:00 (質疑応答を含む)



『大学生・新入社員の適応不安』 —対人恐怖症(社交不安障害)を中心に—

講 師 いちかわ みつひろ 市川 光洋先生 (飯田橋光洋クリニック院長、保存会会長)

1982年浜松医科大学卒業、浜松医大精神神経科入局。1983年高良興生院にて森田療法を研修。
1984年浜松医大で森田療法を開始。1986年都立松沢病院勤務、アルコール病棟開設に携わる。1989年成増厚生病院勤務を経てクリニックを開業し、現在に至る。2016年より高良興生院・森田療法関連資料保存会会長。著書に『外来森田療法』—神経症の短期集中治療—(2008年白揚社発行)

【第二回目】 12月2日(土) 18:00～19:30 (質疑応答を含む)



『認知症と心のケア』

講 師 さいとう まさひこ 斎藤 正彦先生 (都立松沢病院院長)

1980年東京大学医学部医学科卒業、同付属病院・精神神経科にて研修の後、東京都立松沢病院に勤務。
1985年ロンドン大学精神医学研究所に留学。1986年松沢病院に帰任。1991年から1998年東京大学医学部精神医学教室講師。1998年青梅慶友病院副院長。2005年よみうりランド慶友病院副院長。2006年翠会和光病院院長。2012年7月より現職。主な研究テーマは、老年期認知症の医療・介護。高齢者の意思能力、行為能力に関する司法判断。著書(監修)に『家族の認知症に気づいて支える本』(2013年小学館)、ほか。

【第三回目】 12月9日(土) 13:30～15:30 (質疑応答を含む)



『当事者研究のすすめ方』

講 師 むかいやち いくよし 向谷地 生良先生 (ソーシャルワーカー、「べてるの家」理事、北海道医療大学教授)

1955年、青森県生まれ、浦河赤十字病院勤務を経て、1984年、当事者・有志と共に、地域活動拠点「浦河べてるの家」を設立。以来、精神障害を抱えた人たちと地域づくり、街づくりに取り組み、精神医療・福祉の世界に、新しい風を起している。
著書に『安心して絶望できる人生』(2006年日本放送出版協会発行)、ほか。

■会 場 社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」研修室

※裏面地図を参照



〒161-0032 東京都新宿区中落合 1-6-21

1階がスワン・ベーカリー&喫茶カフェタウン (夜間は閉まっています)

※ご注意: 川沿いにありますが、建物に目立つ看板がなく大変わかりづらい場所です。

【最寄駅】西武新宿線「下落合駅」または「中井駅」から徒歩6分。都営大江戸線「中井駅」から徒歩8分

■定 員 各回50名 【申込み不要】

■参加費 各回1,000円 (ただし、保存会会員は無料。※当日の入会も受付けます。年会費 3,000円)

■問合せ 保存会事務局 (就労センター「街」内) ただし、火・水・金曜 10時～17時。 担当 (足立)

☎ 03-3952-9975、 Eメール info@hozonkai.net

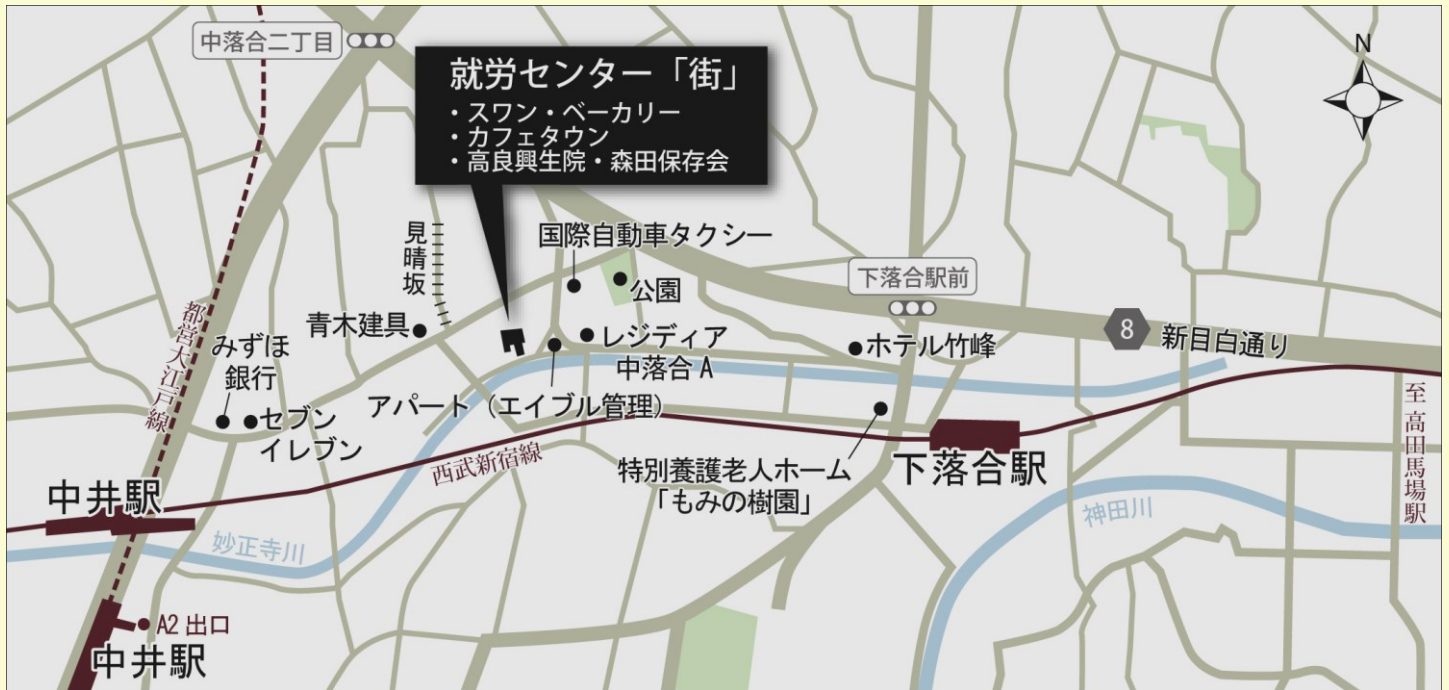
ホームページ <http://www.hozonkai.net/> 森田保存会で検索

◎主催 高良興生院・森田療法関連資料保存会

◎後援 公益財団法人 メンタルヘルス岡本記念財団

【ご注意】 会場の建物には、目立つ看板がなく大変分かりづらいので、特に夜間ご注意ください。

社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」への案内図



森田療法とは

森田療法とは、西暦1920年頃、森田正馬（元・慈恵医大名誉教授）が生み出した、わが国が世界に誇るべき神経症の治療法である。

それは、「とらわれの機制」（神経症的葛藤）を臥褥・作業・日記指導・読書などを用いて段階的に打破し、「あるがままの状態」（創造的で調和のある健康状態）を体得させようとするものである。

高良武久先生は、森田正馬の第一の高弟で、50余年に亘りこの地（東京都新宿区中落合）で高良興生院を開設し、森田療法を実施されていた。

出来事	森田正馬年表	高良武久年表
1997（平成9） 生活支援センター「まど」認可		高良興生院の本館と土地が遺族により社会福祉法人かがやき会に寄付される
1998（平成10） 就労センター事業開始		遺族により「高良武久詩集」が思潮社から出版される
1999（平成11）		高良武久・森田資料保存会結成 （※その後、「高良興生院・森田療法関連資料保存会」に名称変更）
2000（平成12） 通所授産施設 就労センター「街」開所		就労センター「街」内の図書資料室に、高良興生院と森田療法関連資料を保存、公開する

図書資料室の保存資料、蔵書

就労センター「街」2階にある資料室には、森田療法関係、高良興生院関係の様々な図書および資料が展示、保存されています。

なお、蔵書の特色としては、森田療法そのものについての著作のみでなく、森田療法を生みだした背景にある思想家の著作、森田療法が成立した時代の精神医学的な雑誌などをつとめて収集していることです。

《保存されている主な蔵書》

- 森田正馬全集・全7巻（白揚社） ■その他・森田正馬著の単行本 ■高良武久著作集・全7巻（白揚社） ■その他・高良武久の主要著作単行本
- 呉秀三・主要著作（精神医学神経学古典刊行会） ■大原健士郎・主要著作単行本 ■岩井寛・主要著作単行本 ■近藤章久・主要著作単行本
- 水谷啓二・主要著作単行本 ■鈴木知準・主要著作単行本 ■長谷川洋三・主要著作単行本
- 雑誌「神経質」全巻（神経質研究会編）1930年発刊～1935年、森田正馬が自らの治療法を普及していくために、発刊した定期刊行物。
- 復刻版「変態心理」（不二出版、収録 大正6年～大正15年） ■井上円了「妖怪学全集」全6巻（柏書房、東洋大学井上円了記念学術センター編）
- DVD「森田療法ビデオ全集」全5巻（有限会社ランドスケープ） DVD「ヒポクラテスと蓮の花」（有限会社ランドスケープ）
- その他、森田療法関係診療所の機関誌——「あるがまま」「随境」「今に生きる」「三省会報」
- 森田療法学習団体「生活の発見会」の月刊誌など（欠巻あり）

（第2刷、1,000部）